

2021年4月26日～25日

世論調査（日経詳細）、さんいん憲法審査会、3 国政選挙、同社説

### 支持率を追う 日経世論調査アーカイブ

2021年04月26日 更新 2017年03月27日 公開

日経世論調査

日本経済新聞の世論調査は中曽根内閣の末期、1987年9月から始まった。現在は全国の有権者を対象にほぼ毎月、定例実施している。

電話番号を標本抽出する手法は 02 年 8 月に乱数番号法（Random Digit Dialing 法、略して RDD 法）に変更しており、16 年 4 月からは固定電話だけでなく携帯電話も含めるようにした。いずれも RDD 法で電話番号を無作為抽出している。

今回のコンテンツは日本経済新聞が過去に報道した数値を抜粋し、掲載している。整数での表記に切り替えた 01 年 4 月以前の調査では小数点以下を切り捨てている。掲載当時とは異なる場合がある。

国政選挙などに先立ち、有権者意識を報道するため実施する選挙調査については対象から外している。

### 質問について

日経世論調査では内閣支持率について「あなたは ABC 内閣を支持しますか、しませんか」と質問する。「いえない・わからない」と回答した人には、再度「お気持ちに近いのはどちらですか」と問うている。08 年 9 月から 1 度目の質問と重ね聞きの回答比率を分けて公表している。

政党支持率でも「あなたは今、どの政党を支持していますか。ひとつだけお答えください」と質問。さらに「支持政党なし」「いえない・わからない」と回答した人に「しいていえば、どの政党に好意をもっていますか。ひとつだけお答えください」とたずねている。それぞれの回答比率を公表したうえで「支持＋好意政党」の比率を、政党支持率とみなしている。

取材・制作 犬童文良、佐藤健、久能弘嗣

あなたは菅内閣を支持しますか、しませんか。

- 47% 支持する
- 44% 支持しない
- 9% いえない・わからない

政党支持率

支持または好意を持っている政党

- 47% 自民党
- 9% 立憲民主党
- 3% 公明党
- 4% 日本維新の会
- 3% 共産党
- 1% 国民民主党

- 1% 社民党
- 1% れいわ新選組
- 29% 支持(好意)政党なし
- 3% いえない・わからない

首相に処理して欲しい政策課題

菅首相に優先的に処理してほしい政策課題は何ですか。次の 11 個の中からいくつでもお答え下さい。

- 71% 新型コロナウイルス対策
- 30% 景気回復
- 17% 財政再建
- 7% 行政・規制改革
- 33% 年金・医療・介護
- 24% 子育て・少子化対策
- 12% 防災
- 23% 外交・安全保障
- 8% 憲法改正
- 14% 地域活性化
- 10% 社会のデジタル化
- 0% その他

3% いえない・わからない

コロナウイルスへの政府の対応

新型コロナウイルスについて、あなたは日本政府のこれまでの取り組みを評価しますか、しませんか。

- 30% 評価する
- 65% 評価しない
- 3% どちらともいえない
- 2% いえない・わからない

緊急事態宣言の措置

新型コロナウイルスに関する 3 回目の緊急事態宣言が、一部飲食店への休業要請など 2 回目よりも厳しい措置をとることについて、あなたは妥当だと思いますか、思いませんか。

- 68% 妥当だと思う
- 27% 妥当だとは思わない
- 2% どちらともいえない

3% いえない・わからない

まん延防止等重点措置

政府が適用した「まん延防止等重点措置」は感染拡大防止に効果があったと思いますか、思いませんか。

- 19% 効果があったと思う
- 76% 効果があったとは思わない
- 2% どちらともいえない

3% いえない・わからない

ワクチン接種計画

あなたは、政府による新型コロナウイルスのワクチン接種計画が順調だと思いますか、思いませんか。

- 16% 順調だと思う
- 80% 順調だとは思わない
- 1% どちらともいえない
- 2% いえない・わからない

## 日米首脳会談

菅首相はアメリカのバイデン大統領と初会談しました。あなたはこの会談の結果を評価しますか、しませんか。

評価しない

- 32% 評価しない
- 5% どちらともいえない
- 13% いえない・わからない

## 日本の台湾海峡への関わり

日米首脳共同声明で台湾に関する内容が半世紀ぶりに明記されました。日本が台湾海峡の安定に関わることに、あなたは賛成ですか、反対ですか。

- 74% 賛成だ
- 13% 反対だ
- 4% どちらともいえない
- 10% いえない・わからない

## 原発処理水の海洋放出

政府は東京電力福島第一原発の処理水について海洋放出する方針を決めました。あなたはこの方針を妥当だと思いますか、思いませんか。

- 54% 妥当だと思う
- 38% 妥当だとは思わない
- 3% どちらともいえない
- 5% いえない・わからない

## 温暖化ガス排出量の削減目標

菅首相は2013年から2030年にかけての温暖化ガス排出量の削減目標を、26%から46%へ引き上げました。あなたはこれを適切だと思いますか、思いませんか。

- 58% 適切だと思う
- 32% 適切だとは思わない
- 2% どちらともいえない
- 8% いえない・わからない

## 次の首相にふさわしい人

次の政権の首相にふさわしいと思うのは誰ですか。次の10人から1人だけお答え下さい。

- 4% 菅義偉
- 8% 安倍晋三
- 5% 岸田文雄
- 16% 石破茂
- 24% 河野太郎
- 14% 小泉進次郎
- 2% 茂木敏充
- 2% 野田聖子
- 3% 枝野幸男
- 1% その他
- 20% いえない・わからない

2021年04月 回答者数 1026人

## 参院憲法審、28日開催

時事通信 2021年04月26日 12時00分

参院憲法審査会は26日、幹事懇談会を開き、28日に審査会を開催することで合意した。各党派が憲法に対する考え方について表明した後、自由討議を行う。

## 与野党、28日の参院憲法審で正式合意

産経新聞 2021.4.26 12:19

与野党は26日の参院憲法審査会幹事懇談会で、今国会初となる審査会を28日に開く日程で正式に合意した。審査会では各派の意見表明を行った後、自由討議を実施する。参院憲法審は平成30年2月以来、実質審議は行ってこなかった。

幹事懇後、与党筆頭幹事の石井準一氏（自民党）は記者団に「歴代会長や与野党筆頭幹事らの思いがようやく実現した。28日は緊張感を持って取り組んでいきたい」と述べた。

衆院憲法審は今国会ですでに2度の審査会を開いており、与党は憲法改正手続きを定めた国民投票法改正案について、5月6日の採決日程を提案、野党が持ち帰っている状態だ。

## 菅首相「謙虚に受け止める」 衆参3選挙、自民全敗で

時事通信 2021年04月26日 12時29分



衆参3選挙で自民党が全敗したことについて、記者団の質問に答える菅義偉首相＝26日午前、首相官邸

菅義偉首相は26日、衆院北海道2区、参院長野選挙区の両補欠選挙と参院広島選挙区再選挙で自民党が全敗したことを受け、「国民の審判を謙虚に受け止め、さらに分析をした上で、正すべき点はしっかり正していきたい」と述べた。首相官邸で記者団の質問に答えた。

衆院解散・総選挙の時期への影響に関しては「新型コロナウイルス対策を最優先で取り組んでいくという考え方に変わりはない」と述べ、早期実施に慎重な考えを強調。高齢者向けのワクチン接種に触れ、「7月末を念頭に高齢者の希望する方全員に2回目のワクチン接種を終えるように取り組んでいきたい」と語った。

## 首相、全敗「謙虚に受け止める」 政権立て直し急務、野党共闘強化

2021/4/26 11:36 (JST)4/26 11:52 (JST)updated 共同通信社



首相官邸で記者団の取材に応じる菅首相＝26日午前

菅義偉首相は26日、自民党が全敗した衆参3選挙の結果について「国民の皆さんの審判を謙虚に受け止め、さらに分析した上で、正すべき点はしっかり正していきたい」と官邸で記者団に述べた。次期衆院選に向けて政権運営の立て直しを急ぐ。

後手に回る政府の新型コロナウイルス対応や、「政治とカネ」など政権不祥事への反発が根強いことが浮き彫りになり、求心力の回復が課題。野党は3勝につながった共闘を強化し、後半国会で政権批判を強める。

首相は衆院解散に関し「コロナ対策に最優先で取り組む考え方に変わらない」と強調した。

### 3選挙全敗、菅首相「謙虚に受け止める」 影響は不可避

朝日新聞デジタル 2021年4月26日 11時45分



選挙結果について、記者の質問に答える菅義偉首相=2021年4月26日午前10時53分、首相官邸、上田幸一撮影



菅義偉首相は26日午前、衆参3選挙で与党が全敗したことについて「国民の皆さんの審判を謙虚に受け止め、正すべき点はしっかり正していきたい」と述べた。首相官邸で記者団の取材に応じた。

25日投開票された参院広島選挙区再選挙と参院長野選挙区補欠選挙、衆院北海道2区補選で、政権与党は候補者擁立を見送った北海道を含め全敗した。

広島再選挙は、2019年参院選をめぐり公職選挙法違反（買収）の有罪判決が確定した河井案里氏=自民党を離党=の当選無効に伴うもの。首相は「政治とカネ」の問題が勝敗に影響を与えたとの指摘に、「色々なご指摘をいただいている。自民党総裁として重く受け止めたい」と語った。

19年の参院選では、当時官房長官だった首相が2度にわたって現地入りするなど、案里氏を全面的にバックアップ。党本部から河井氏側に支払われていた1億5千万円が、買収資金に充てられた可能性も指摘されている。首相は党総裁として説明責任を問われると、「いま党内の書類は（検察に）押収されている。党の会計監査人がいるので、その中でしっかり判断していきたい」と述べた。

菅政権にとって初の国政選挙で「3戦全敗」となった衝撃は大きく、今後の政権運営への影響は避けられない。10月に任期満了が迫る衆院の解散戦略については、「コロナ対策を最優先に取り組んでいくという考え方に変わりはない」と、従来通りの言い回しにとどめた。

### 衆参3選挙全敗、首相が「国民の審判を謙虚に受け止め」...宣言初日が開票日と重なる

読売新聞 2021/04/26 11:54

菅政権発足後初の国政選挙となった衆院北海道2区、参院長野選挙区の両補欠選挙と参院広島選挙区の再選挙から一夜

明けた26日、政府・与党からは自民党全敗という結果を厳しく受け止める声が相次いだ。秋までに行われる衆院選に向けて、態勢の立て直しを急ぐ構えだ。



記者の質問に答える菅首相（26日午前、首相官邸）=田村充撮影

菅首相は首相官邸で記者団に、「国民の皆さんの審判を謙虚に受け止め、正すべき点はしっかり正していきたい」と語った。北海道2区の不戦敗を含め全敗したことが衆院解散の時期に影響するか記者団に問われると、「新型コロナウイルス対策に最優先で取り組むとの考えに変わりはない」と述べた。

自民党の下村政調会長は26日午前、全敗の理由について「ワクチンも含めて、新型コロナ対応をしっかりとやってほしいという思いでの投票行動だったのではないかと指摘した。3回目の緊急事態宣言の初日が投開票日と重なり、国民の不安や不信が自民党への逆風につながったというわけだ。

首相官邸幹部は「全敗は個別の選挙区事情が大きく、首相の求心力に影響はない」と強調するが、厳しい政権運営となるのは避けられそうもない。公明党の石井幹事長は25日夜、記者団に「政権への影響を最小限にするためにも当面の政治課題に全力で取り組んでいきたい」と強調した。

一方、野党は勢いづいている。立憲民主党の枝野代表は26日午前、記者団に「金権腐敗政治や、何度も緊急事態宣言を強いられた状況に活を入れたい有権者の思いが選挙結果に表れた。次期衆院選では与野党1対1の構図にすることが大切だ」と述べた。

### りきお

枝野氏はこれに先立ち都内の連合会館を訪れ、神津里季生会長と会談した。選挙支援へのお礼とともに、次期衆院選に向けた連携について協議した。

### 菅首相 衆参3選挙全敗「謙虚に受け止める」...政治のカネの問題の説明責任は「何回となく申し上げている」

東京新聞 2021年4月26日 12時35分

菅義偉首相は26日、自民党が全敗した衆参3選挙の結果について「国民の皆さんの審判を謙虚に受け止め、さらに分析をした上で、ただすべき点はしっかり正していきたい」と官邸で記者団に述べ、次期衆院選に向けて政権運営の立て直しを図る考えを示した。

「政治とカネ」が争点となった広島再選挙の敗北については「自民党総裁として重く受け止めたい」と語った。一方で、党本部が2019年の参院選で河井案里前参院議員陣営に投入した1億5千万円の使途や自民党総裁としての説明責任については「何回となく申し上げています。今、党内の書類は押収されておりますし、党として、会計監査人がおりますから、そ

うした中でしっかり判断していきたい」と述べるにとどめた。

また、菅首相は衆院解散について「常日ごろから申し上げていますように、コロナ対策を最優先に取り組んでいくという考え方に変わりない」と語った。

## 信頼失った菅政権に国民から警鐘 衆参3選挙で自民全敗

東京新聞 2021年4月25日 22時26分

菅政権で初の国政選挙となった衆参3選挙で、自民党が不戦敗も含めて全敗を喫した。この結果は、「国民のために働く内閣」を掲げながら失政を重ね、新型コロナウイルス対策でも感染を拡大させ3度目の緊急事態宣言まで出し、信頼を失った菅義偉首相に対する国民からの警鐘だ。「政治とカネ」を巡る自民党の金権体質にも、国民が厳しい審判を下した。

### ◆遅れるコロナ対応

昨年9月の政権発足当初、世襲議員ではない宰相という看板で内閣支持率は高かった。しかし、コロナ対応では、観光支援事業「Go To トラベル」や東京五輪・パラリンピックを重視して判断が遅れたと度々指摘されてきた。ワクチン接種も遅れ、全国民がいつまでに接種できるのかも見通せない。国民に不要不急の外出自粛を求めながら、与党議員が都内の高級クラブを訪れ、首相も高級ステーキ店での多人数の会食が批判を受けた。

### ◆繰り返される「政治とカネ」問題

「政治とカネ」を巡っては、自民党の二階俊博幹事長が、参院広島選挙区再選挙のきっかけとなった河井案里前参院議員と夫の克行元法相による多額買収事件を「他山の石」と人ごとのように説明。総務省接待問題では、首相は長男正剛氏を当初、「別人格」として逃げ切ろうとした。首相側近の菅原一秀前経済産業相が選挙区内の行事で現金を配った疑いまで浮上した。

こうした1つ1つが、政権への不信を増幅させたのは間違いない。今回の民意は3選挙区の有権者だけでなく、多くの国民の思いと受けとめるべきだ。なぜ国民の信頼を失ったのか。首相がそこに向き合わなければ、今秋までに実施される衆院選で厳しい審判が下るだろう。(山口哲人)

## 衆参3選挙全敗の自民、それでも「菅降ろし」にはならず...

### 「ポスト菅」不在

読売新聞 2021/04/26 06:40

衆参3選挙の結果は、菅首相の政権運営に大きな影響を及ぼしそうだ。与党内では、衆院解散・総選挙は東京五輪・パラリンピック後の秋が軸になるとの見方が強まるとみられる。



菅首相

首相は25日、首相公邸でブレインであるデービッド・アトキンソン小西美術工芸社社長や、厚生労働省の樽見英樹次官らと会い、経済対策や新型コロナウイルス対策を協議した。



参院長野選挙区の補欠選挙で初当選した立憲

民主党の羽田次郎氏(25日午後8時5分、長野市のホテルで)

首相は3選挙に関し、「政権への逆風は極めて強いが、コロナ対策などやるべきことを一つ一つやっていくしかない」と周囲に語っている。

解散時期については、9月末までの自民党総裁任期中を模索している。23日の記者会見でも、「私の総裁任期の中で、機会を見て考えなければならない」と強調した。首相が今後の政局の節目になるとみているのが7月だ。

政府は、新型コロナワクチンの高齢者接種を7月末に終わることを目指している。7月23日には、東京五輪が開幕する。衆院選は、早くても7月4日投開票の東京都議選との同日選になるとの見方があり、首相はワクチン接種の進行状況や五輪開催に向けた国民の空気感を見極め、判断する考えとみられる。

ただ、今回、保守地盤の参院広島選挙区で敗れたことで、「解散時期の選択肢は狭まり、『秋解散』に絞られつつある」(自民党幹部)との声が広がっている。主要閣僚の一人は3選挙の影響について、「党への風当たりは強くなり、野党は勢いづく。この政権で衆院選を本当に戦えるのかという声は必ず出てくる」と懸念を示した。

それでも、自民党内では、有力な「ポスト菅」候補が不在なのが実情だ。自民党の閣僚経験者は「菅降ろし」にはつながらず、結局菅氏で衆院選に突入するしかない」と指摘した。

## 首相「国民の審判、謙虚に受け止める」 衆参3選挙、自民党全敗

毎毎日新聞 2021/4/26 11:32(最終更新 4/26 11:32)



衆参3選挙の結果について記者団の質問に答える菅義偉首相＝首相官邸で2021年4月26日午前10時53分、竹内幹撮影

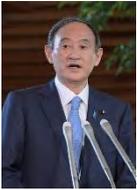
菅義偉首相は26日午前、不戦敗を含め自民党が全敗した25日の衆参3選挙の結果を受け「国民の審判を謙虚に受け止め、さらに分析をしたうえで、正すべき点はしっかり正していきたい」と述べた。「政治とカネ」の問題が焦点となったことについては「自民党総裁として重く受け止めたい」と語った。官邸で記者団に語った。

今回の選挙結果が衆院解散の判断に与える影響に関して、首相は「常日ごろから申し上げているが、新型コロナウイルス

対策を最優先に取り組んでいくという考え方に変わりはない」と述べるにとどめた。【藤渕志保】

## 衆参3選挙 コロナ・「政治とカネ」不満直撃 自民全敗「崖っぷち」 首相「謙虚に受け止める」

毎日新聞 2021/4/26 東京夕刊 有料記事 1625 文字



衆参3選挙の結果について記者団の質問に答える菅義偉首相＝首相官邸で2021年4月26日、竹内幹撮影

25日投開票された参院広島選挙区再選挙と参院長野選挙区補選、衆院北海道2区補選で、自民党は「全敗」を喫した。新型コロナウイルス対応で苦境が続く菅政権に「政治とカネ」の問題の影響が追い打ちをかけた格好で、政権は次期衆院選に向けて態勢の立て直しを急ぐ。菅義偉首相は26日午前、首相官邸で記者団に「国民の審判を謙虚に受け止め、分析した上で正すべき点をしっかり正したい」と述べた。

残り 1438 文字 (全文 1625 文字)

## 宮口氏、政治刷新へ「早く行動しないと」 参院広島再選挙一夜明け

毎日新聞 2021/4/26 11:57(最終更新 4/26 11:58) 1161 文字



当選から一夜明け、広島市内で通行人に手を振る宮口治子氏＝広島市中区で2021年4月26日午前8時4分、滝川大貴撮影

参院広島選挙区再選挙の投開票から一夜明けた26日朝、野党勢力を結集して初当選した宮口治子氏(45)と、落選した自民党公認の西田英範氏(39)が広島市内で街頭に立ち、有権者に結果を報告した。2019年参院選広島選挙区を巡る大規模買収事件を受け、政治不信が高まる中での今回の再選挙。宮口氏は政治の信頼回復へ決意を改めて述べ、有権者も政治の刷新を期待した。

「おはようございます。行ってらっしゃい」。宮口氏は午前8時から約30分間、同市中区の市中心部に立った。会釈してほほえむ男性に両手で手を振った後、胸の前で拝むように手を合わせ、何度もお辞儀をしていた。

終了後、記者団に「まっさらな気持ちでこれから頑張りたい」と抱負を述べた。昨夜は3時間ほどしか眠れなかったという。

「政治とカネ」の問題については「私が当選できたということは『政治を変えてほしい』『事件を説明してほしい』という意思表示だったと思う」とし、「早く行動しないとイケない」と話した。

投票率は19年7月の参院選広島選挙区の44・67%を大幅に下回る33・61%。有権者の3人に2人が投票に行かなかったことになり、政治不信が浮き彫りになった。当選確実となった25日夜には「投票率も低く、政治不信が広がっている。その受け皿になれなかったことは重く受け止めている」と語っていた。

たことになり、政治不信が浮き彫りになった。当選確実となった25日夜には「投票率も低く、政治不信が広がっている。その受け皿になれなかったことは重く受け止めている」と語っていた。



投開票から一夜明けた朝、交差点に立った西田英範氏(右)。通りかかった人にねぎらいの声をかけられ、お辞儀して応じていた＝広島市中区で2021年4月26日午前7時57分、池田一生撮影

一方、西田氏も26日朝に約1時間、中区の大通りの交差点に立った。疲れた様子で、市民らに手を振ったり、お辞儀をしたりして結果を報告。支持者に「お疲れさん」と声をかけられ、「応援してくれたのに申し訳ありませんでした」と応じた。記者団には「私の言葉が足りなかった。思いが足りなかった。反省している」と敗因を述べた。自民広島県連会長の岸田文雄前政調会長から「申し訳ない」と言葉をかけられたと明かし、事件については「今後も有権者にもっと説明をしていくべきだ。できることをやっていきたい」と語った。

市民らからは宮口氏に期待し、政治の刷新を求める声が上がった。通勤途中に宮口氏に手を振ってエールを送った広島市安佐北区のパート従業員、澤田理恵さん(58)は「買収事件発覚以降は随分恥ずかしい思いをした。自民にはうんざり」と話し、宮口氏には「何よりもクリーンな政治と、若者や高齢者らが安心して暮らせるような世の中をつくって」と期待を寄せた。

また、同市南区の会社員、前川裕樹さん(37)は「新型コロナウイルスの影響で所得が激減し生活が困窮する知人も多い。そういった人を支え、日本経済を立て直す取り組みにも期待したい」、同市東区の男性会社員(51)は選挙結果について「買収事件も大きく影響したのだろう。自民の信頼回復にはしばらく時間がかかるのではないかと話した。【小山美砂、園部仁史、益川量平、池田一生】

## 衆参3選挙全敗に自民幹部「厳しい結果」 菅政権、立て直し急ぐ

毎日新聞 2021/4/26 11:35(最終更新 4/26 11:35) 1211 文字



首相官邸に入る菅義偉首相＝東京都千代田区で2021年4月26日午前8時28分、竹内幹撮影

25日投開票された参院広島選挙区再選挙と参院長野選挙区補選、衆院北海道2区補選で、自民党は「全敗」を喫した。新型コロナウイルス対応で苦境が続く菅政権に「政治とカネ」の問題の影響が追い打ちをかけた格好で、政権は次期衆院選に

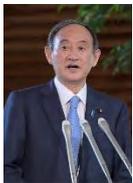
向けて態勢の立て直しを急ぐ。菅義偉首相は26日午前、首相官邸で記者団に「国民の審判を謙虚に受け止め、分析した上で正すべき点をしっかり正したい」と述べた。

公職選挙法違反で有罪が確定した河井案里元参院議員（自民を離党）の当選無効に伴う参院広島再選挙では、諸派新人の宮口治子氏（45）＝立憲民主党、国民民主党、社民党推薦＝が、自民党新人の西田英範氏（39）＝公明党推薦＝ら5氏を破って初当選した。

自民党の下村博文政調会長は26日午前、党経済成長戦略本部の会合であいさつし、「昨日の選挙は我が党にとって大変厳しい結果だった。国民の声を謙虚に受け止め、菅政権のもとで一致結束して（新型コロナの感染拡大という）国難に当たり、国民の信頼が得られるようにさらに対処していく必要がある」と述べた。

自民党の山口泰明選対委員長は25日夜、党本部で記者団に「こういう結果になり残念だ。有権者の審判を厳粛に受け止め、今後の選挙は反省を踏まえてやっていきたい」と述べた。公明党の石井啓一幹事長も「政権運営への影響なし、とは言えない。国民の信頼を回復するため全力で取り組まなければならない」と厳しい表情で語った。

ある閣僚は3選挙全敗について「今回はおきゅうを据えるより強かった。自民は崖っぷちに近付いている」と指摘した。自民党内からは「何か変えないと次の衆院選は厳しい。もう人事刷新という声が出ている」（閣僚経験者）と内閣改造や党役員人事で目先を変えるべきだとの声も上がっている。



衆参3選挙の結果について記者団の質問に答える菅義偉首相＝首相官邸で2021年4月26日午前10時53分、竹内幹撮影

### 衆参3選挙敗北 首相「国民の審判、謙虚に受け止め」 衆院選へ政権立て直し急務

日経新聞 2021年4月26日 11:30



衆参3選挙の結果について報道陣の質問に答える菅首相（26日午前、首相官邸）

菅義偉首相（自民党総裁）は26日午前、自民党が議席を得られなかった衆参両院の3選挙の結果について「国民の審判を謙虚に受け止め、さらに分析したうえで正すべき点はしっかり正したい」と述べた。首相官邸で記者団に答えた。

与野党対決となった25日投開票の参院長野選挙区補欠選挙、参院広島選挙区の再選挙は自民党候補がいずれも敗れた。候補擁立を見送った衆院北海道2区補選を含め1議席も得られなかった。

昨年9月の菅政権発足後初めての国政選挙だった。7月4日投開票の東京都議選、秋までにある衆院選に向けて政権運営の立て直しが急務になる。

首相は選挙結果が衆院解散・総選挙の判断に影響を与えるかを問われ「新型コロナウイルス対策を最優先に取り組んでいく考え方に変わりはない」と強調した。

「7月末を念頭に希望する高齢者全員に2回目のワクチン接種を終えるよう政府として取り組んでいきたい」と語った。参院広島選挙区の再選挙は河井案里氏（自民党を離党）の公職選挙法違反事件により「政治とカネ」を巡る問題が争点となった。首相は「党総裁として重く受け止めたい」と話した。

自民党の下村博文政調会長は26日午前、党本部で記者団に「自民党にとって大変厳しい結果だった」と指摘した。「菅政権のもとで自民党は結束して国民の信頼を得られるようにさらに対処していく」と訴えた。

「選挙区状況だけでなく、新型コロナ対応でワクチン接種を含めもっとしっかり国がやってほしいという思いの中での投票行動だったのではないかと分析した。

### 自民・岸田前政調会長、参院広島選挙区再選挙敗北の一問一答 「再生に向けて努力を」

産経新聞 2021.4.26 06:30

25日投開票の参院広島選挙区再選挙で陣頭指揮を執った自民党広島県連会長の岸田文雄前政調会長は同日夜、広島市内のホテルで記者団の取材に応じた。主なやりとりは次の通り。

――最後まで横一線といわれた激戦だったが、結果をどう受け止めるか

「（自民新人の）西田英範さんは本当に難しい選挙を勇氣と覚悟を持って臨んでくれた。一生懸命、最後まで頑張ってくれた。大変素晴らしい候補者であったということを改めて強く感じています。その候補者を当選させることができなかったことについて私たちは改めて力不足を感じ、申し訳なく思っています。これが率直な感想です」

――思い当たる敗因は

「そもそも（元法相の）河井克行被告や妻の案里前参院議員による『政治とカネ』の問題でのマイナスからのスタートでした。この逆風の中、はい上がることができるのか、候補者本人も大変な努力をし、われわれも県民の意見を聞きながら努力をしてきた、大変苦しい選挙だったと思っています。ただ、選挙戦の17日間を振り返りますと、後半には少しずつ広島から政治を変える、自民党を変えるという思いが受け入れられ、手応えも感じた、そんな選挙戦でもあったと思います。

足らなかった点や反省すべき点はいろいろあります。多くの皆さんに心一つに、戦ってもらったことを感謝しつつ、ぜひ今後、自民党広島県連として、あるいは自民党として、どう反省し、そして次につなげていくのか、これから再生に向けてしっかり努力をしていかなければいけないと感じています」

――衆院北海道2区補選や参院長野選挙区補選が行われる

中、広島での再選挙で1勝をつかめるかが注目された

「今回の選挙の結果が、国政に何らかの影響があるのかもしれませんが、少なくともこの選挙が国政全般に大きな影響を与えるというようなことはないと思っています」

――今後、自民党として有権者にどのように応えていきたいか

「『政治とカネ』の問題について、県民の怒りは大変大きいものがあるということを改めて強く感じました。また今回の選挙の最中に、別の『政治とカネ』の問題の捜査がマスコミ等で報じられるなど、われわれが広島でこの問題に向き合っている中においても、他の事件が報じられ、私自身としても『もういい加減にしてくれ』という思いを強く感じる場面もありました。私たちは真剣に政治の信頼回復を考えていかなければならない。ぜひこうした選挙を経験した者として、自民党の信頼回復の道について真剣に考えていかなければならないと思っています」

――自民党の信頼回復のため、総裁選に挑戦していく考えは変わらないか

「私は今回の選挙と総裁選について、何か結び付けるようなことは言った覚えはありませんし、ましてやこの選挙の結果を総裁選に利用するということは全く考えはともありません。総裁選は総裁選、今回の選挙は今回の選挙であると思っています」

――菅義偉（すが・よしひで）政権の新型コロナウイルス対応などによる逆風を感じなかったのか

「コロナ対策について、県民が命や暮らしを守り、そして仕事を守るために大変苦勞されておられる、政治にしっかりと責任を果たしてもらいたいという強い思いを持っていることについては感じました。それにどう応えていくのか、これは政治全体の責任であると思います。」

政権批判というよりも、政治全体がしっかりと受け止めなければいけない、こういった課題であると感じます。ぜひ私も与党の国会議員の一人としてこういった声をしっかりと受け止めながら、従来からも経済対策などさまざまなコロナとの戦いにおける政策提言を行ってききましたが、引き続き、こうした多くの県民の皆さんの声をしっかりと受け止め、前向きに政策提言を行うなど政治の責任をしっかりと果たしていきたいと思っています」

――県連会長に就任したばかりだが、去就はどう考えるのか

「西田さんという優秀な候補者の人生を狂わせてしまったことについては大変申し訳ないと思っています。私は県連会長として有権者の皆さんの声をしっかりと受け止め、県連を再生させていくことが私の責任です。それが自民党の再生になると信じて、取り組みを進めていかなければならないという強い思いを今持っています。ぜひ努力をしたいと思っています」

――再選挙の発端は党本部が県連の反対を押し切って前回参院選に候補者を立てたことだが、党内の一部では（今回の敗

戦での）岸田氏の責任を問う声も上がっていた。理不尽だとは思って感じなかったか

「そういう声は私は直接は聞いておりませんので、何か申し上げる材料はありませんが、県連会長としてやるべきことをやったとは思っています。ただ、力不足で結果を出せなかったことは申し訳なかったと思います。それがどう評価されるか、これは私も関心をもって見ていきたいと思っています」

## 補選・再選挙、自民系勝利 6割超 不祥事や相手の引苦戦 チャートで読む政治 選挙 (6)

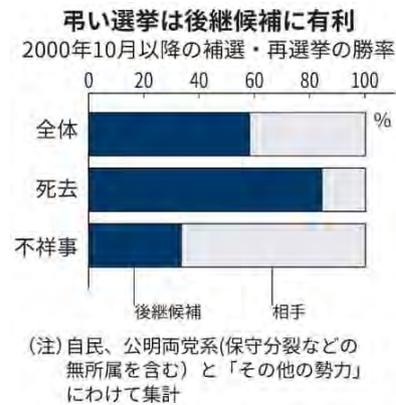
日経新聞 2021年4月26日 11:30 [有料会員限定]

25日投票の衆参両院3つの補欠選挙・再選挙で自民党は1議席も得られず、野党が推した候補がいずれも勝利した。2つは自民党議員の「政治とカネ」にまつわる辞職や当選無効に伴うもので、1つは野党議員の死去が理由だった。不祥事関連や相手の「引選挙」で与党は厳しい戦いを強いられた。

補選は議員の死去や辞職といった要因で一定の欠員が生じた場合に実施する。再選挙は当選者が足りなかったり、当選無効になったりした際に選挙を再度行う。

補選や再選挙は2000年10月から年2回に集約された。4月の第4日曜日と10月の第4日曜日に投票される。

00年10月以降の全50件の補選・再選挙をみると、理由でもっとも多いのは議員の死亡の19件だった。政治とカネなどの不祥事が15件で続く。知事など首長選への出馬が12件、参院から衆院へのくろ替え出馬が4件あった。

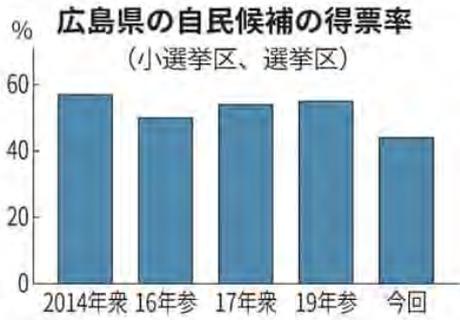


50件のうち選挙後に公認・入党した例を含めて自民系系の勝利が6割を超す。

不祥事に絡む選挙は辞職した側の分が悪い。自民系議員の不祥事による計10件のうち自民系が議席を維持できたのは半数の5件だ。今回は衆院北海道2区の補選、参院広島選挙区の再選挙ともに議席を得られなかった。

非自民・公明系議員の不祥事に伴う過去5件は、自民系が4件で議席を奪っている。

「引選挙」は亡くなった議員の側が優位に戦う傾向にある。今回も参院長野選挙区の補選で亡くなった立憲民主党の羽田雄一郎元国土交通相の弟、羽田次郎氏が当選した。死去した議員側の勢力の勝率は84%にのぼる。



今回の3選挙で最も接戦になったのは参院広島選挙区だった。広島県は岸田派を中心に自民党が強い基盤を維持してきた。14～19年の衆参両院の選挙は自民党候補の得票率が50～57%を保っていた。今回は44%で逆風を物語った。補選・再選挙の結果は直後の大型国政選挙の先行指標とも位置づけられる。秋までに次の衆院選がある。全勝した野党は共闘の効果を示した。保守地盤で敗れた自民、公明両党は態勢の立て直しが必要になる。

### 立民・枝野代表 金権政治や感染症対策へ批判の表れ 衆参3選挙で

日経新聞 2021年4月26日 12:10



連合本部に入る立憲民主党の枝野代表=26日

午前、東京都千代田区

立憲民主党の枝野幸男代表は26日午前、野党系候補が全勝した衆参補選・再選挙について「有権者の金権腐敗政治をいっかげんにしてほしい、感染症対策にしっかり活を入れろという表れだ」と述べた。都内で記者団に語った。次期衆院選への野党共闘については「幅広い皆さんにそれぞれの力を発揮してもらうことで結果につながっていく」と強調した。「与党と一対一の構図をつくることは重要で、今回の選挙でも明らかになった」と話した。

### 立民・枝野代表「与党と1対1の構図が重要」 候補者一本化を加速

産経新聞 2021.4.26 13:33

立憲民主党の枝野幸男代表は26日午前、野党統一候補が全勝した25日投開票の衆参3選挙の結果を受け「政権与党と1対1の構図を作っていくことが重要だと明らかになった」と強調し、次期衆院選の選挙区候補者を共産党などと一本化する作業を加速させる考えを示した。東京都内で記者団に語った。

勝因は「『時代錯誤の金権腐敗政治をいっかげんにしてほしい、感染症対策にしっかり活を入れていけ』という有権者の思いの表れ」と述べた。

枝野氏は26日、連合の神津里季生会長と連合本部で会談。3選挙での支援に謝意を示した上で、次期衆院選に向けた連携強化を確認した。

### 自民・下村氏「厳しい結果、信頼回復へ結束」 3選挙「全敗」

日経新聞 2021年4月26日 10:48



自民党経済成長戦略本部の会合であい

さつする下村政調会長(26日、党本部)

自民党の下村博文政調会長は26日午前、党本部で開いた党会合で与党が「全敗」した衆参両院3選挙を巡り「自民党にとって大変厳しい結果だった」と語った。「菅政権のもとで自民党は結束して国民の信頼を得られるようにさらに対処していく必要がある」と述べた。

下村氏は記者団に敗因を問われ「政治とカネ」の問題などに加え、政府の新型コロナウイルス対策への不満があったとの見方を示した。

「それぞれの選挙区状況だけではなく、新型コロナ対応でワクチン接種を含めてもっとしっかり国がやってほしいという思いの中での投票行動だったのではないかと分析した。党として「コロナ対応を含めた経済対策も早急に整理し、まとめていく必要がある」と強調した。

### 衆参3選挙で与党全敗 首相「選挙の顔」に懸念 公明幹部「政権運営に影響」

北海道新聞 04/26 11:56 更新

選挙区	自民	野党
衆院 長野補選	・新型コロナウイルス感染症で急死した立民の羽田元国土交通相の「早い合戦」で苦戦 ・候補の出身派閥の竹下派が支援	・候補が共産などの単組織と結んだ政策協定に懸念 ・ゼロを明記したことに国民が反発、共闘に乱れ ・候補の父は元首相で党内に「羽田ブランド」
衆院 広島再選挙	・自民支持層が厚い広島での1勝確保を期待 ・前回参院選で、自民党本部と共闘が対立 ・衆院候補擁立を巡り自公に隙間開	・前回参院選での河井前参院議員(自民離党)の選挙買収による再選挙、「政治とカネ」で批判 ・立憲、国民、社民共闘、共産支援
衆院 道2区補選	・道新汚職事件による古川元議水相(自民離党)の議員辞職が原因の補選。自民は候補擁立断念に追い込まれる	・野党共闘を重視する共産が擁立を取り止め、立憲候補に一本化 ・共産は他党の抵抗感に配慮し党本部推薦見送り

※敬称略	与党	野党
衆院 道2区	不戦敗	当 松本謙公 (立憲)
参院 長野選挙区	小松 裕 (自民)	当 羽田次郎 (立憲)
参院 広島選挙区	西田英範 (自民)	当 宮口治子 (諸派)



菅義偉首相にとって初の国政選挙となった衆院道2区、参院長野選挙区の両補欠選挙と参院広島選挙区の再選挙は、与党が「全敗」した。保守の地盤が強固な広島でも自民党候補が敗れたことで与党内には衝撃が広がり、10月21日の衆院任期まで半年を切る中、首相を「選挙の顔」として戦うことに懸念が強まるのは必至。野党は衆院選に向け選挙協力に弾みを付けたい考えた。

「有権者の審判を厳粛に受けとめ反省していく。敗因は今後検証する」。自民党の山口泰明選対委員長は25日夜、党本部で記者団に淡々と語った。

残り：1186文字/全文：1427文字

### 松木さん「支え合う日本つくる」 道2区補選、当選から一夜明け

北海道新聞 04/26 12:40 更新



自らの当選を報じる新聞に目を通す松木謙公さん＝26日午前10時30分ごろ、札幌市北区（中川明紀撮影）

当 59,664	松木 謙公 62	立元⑤	国社共
27,355	鶴羽 佳子 53	無新	
22,459	山崎 泉 48	維新	因
15,738	長友 隆典 52	無新	
5,630	斉藤 忠行 29	N新	
5,552	小林 悟 56	無新	

※丸数字は当選回数。党派略称の□は推薦 □は政党の全道組織

25日に投開票された衆院道2区（札幌市北区の一部、東区）補欠選挙で勝利した立憲民主党元職の松木謙公さん（62）は26日朝、当選から一夜明けて「もし失敗したとしてもみんなが支え合い、生きやすい日本をつくりたい」と話し、3年半ぶりの国政復帰に向けて意気込みを示した。

松木さんはスーツに身を包み、同市北区の選対事務所で新聞に目を通した。昨夜は祝福の電話が数百件かかってきたといい、就寝したのは午前5時ごろ。選挙戦では自転車ですべて88キロを走って支持を訴えたが、「疲れはない」と笑顔を見せた。

残り：207文字/全文：450文字

### 衆参3選挙自民「全敗」 参院県区補選は立民・羽田氏初当選

菅義偉政権発足後、初の国政選挙となった衆参3選挙は25日投開票され、事実上の「与野党1対1」の対決構図となっ

た参院県区補選（欠員1）は立憲民主党新人の羽田次郎氏（51）＝共産、国民民主、社民推薦＝が4万5千票余を獲得、自民党新人の小松裕氏（59）＝公明推薦＝に約9万票の差をつけて初当選した。参院広島選挙区再選挙も立民、国民民主、社民推薦で共産が支援する諸派新人が勝利し、自民が不戦敗を選択した衆院北海道2区補選は立民元職が議席を獲得。次期衆院選の前哨戦で自民は全敗を喫し、菅首相は政権運営に大きな痛手を負った。

参院県区補選は、羽田氏の兄・雄一郎氏が昨年12月に新型コロナウイルスで急逝したことに伴い行われた。野党側は参院県区が改選1議席となった2016年、19年に続いて候補を統一して勝利した。県選管は28日に選挙会を開き、羽田氏の当選を決定する。任期は雄一郎氏の残任期間の25年7月28日まで。

投票率は44・40%で、19年参院選（54・29%）を9・89ポイント下回った。補選を含む参院選投票率としては1948（昭和23）年の参院県区補選（44・87%）を0・47ポイント下回り、過去最低となった。

羽田氏は雄一郎氏の死去を受け、今年2月に立候補を正式表明。現政権の新型コロナウイルス対策を批判し、検査態勢などの強化を訴えた。雄一郎氏が掲げた子ども重視の政策を継続し、単身の子育て世帯やLGBTなど性的少数者らを含め「小さな声を大切に、声なき声を国政に届ける」と主張した。

新型コロナの感染対策で街頭演説を中心にした選挙戦を展開し、共闘する野党の幹部も応援に入った。野党支持層や無党派層に幅広く浸透し、選挙戦を終始優位に進めた。

小松氏は故・吉田博美氏の後継指名を受けて出馬した19年参院選に続いて敗れた。医師から転身して衆院議員を2期5年務めた経験を前面に打ち出し、「医療と政治をつなぐ役割を担う」と主張。与党の議席奪還を訴えたが、得票を伸ばせなかった。

NHK受信料を支払わない方法を教える党新人の神谷幸太郎氏（44）は県内で選挙活動をせず、支持は広がらなかった。



初当選を果たし、笑顔で花束を掲げる羽田次郎氏＝25日午後8時5分、長野市内のホテル

当	羽田 次郎 51	無新	国国国	415,781
選	小松 裕 59	自新	回	325,826
選	神谷幸太郎 44	自新		17,559
無効・持ち帰り 9,921票				
有権者数 1,732,060人				
(男841,182人、女890,878人)				
投票率44.40% (男45.04%、女43.80%)				
選は法定得票に達した者、選は供託金没収。回共産党、国は国民民主党、自は社民党、回公明党の推薦。				

## 菅政権初の国政選挙“全敗の与党”受け止めは？

ANN2021/04/25 23:30

菅政権の発足後、初めての国政選挙となる3つの選挙でいずれも野党候補が勝利し、与党が全敗という結果になりました。▽広島 自民党への逆風…激しい戦いに

河井案里氏の当選無効に伴う参院広島の再選挙。大規模買収事件で浮き彫りとなった“政治とカネ”の問題をめぐり野党が真っ向から激突。激しい戦いとなりました。

自民党の新人で公明党が推薦する西田英範候補。一方、立憲民主党・国民民主党・社民党が推薦する諸派新人、宮口治子候補による事実上の一騎打ちとなりました。

今回、同時に行われた参議院長野補欠選挙 広島再選挙、衆議院北海道2区補選は次期衆院選の前哨戦ともいわれています。宮口氏は福山市出身のフリーアナウンサー。3人の子供を育てるシングルマザーでもあります。

「金権政治はもうダメだと、この広島から政治を変えていきましょう。」

「政治とカネ」の問題を追い風に波に乗る野党。一方厳しい戦いを強いられている自民党。

自民党の新人、元経産省官僚の西田英範候補。逆風の中、選挙終盤には身内への批判を展開。

西田英範候補

「たくさんのご批判ご指摘をいただきました。でもその批判、怒り、私も同じであります。勝たせてください。勝たせてください」

17日間の激戦は与党の敗北で幕を閉じる結果に。菅政権にとって初の国政選挙。長野の補欠選挙でも野党が勝利し、全敗となった与党。今後行われる衆議院選挙にも大きな影響を与える結果となりそうです。

▽自民党内の受け止めは？テレビ朝日 藤川みな代コメンテーターに聞きます。

「菅総理で総選挙を戦えるのかという不満や不安は出てくると思うが、

それがただちに菅おろしの政局につながるかというと、そうとも言い切れない」

## “3敗” 政権運営に懸念も 次期衆院選へ 野党は勢い

ANN2021/04/26 06:24

3つの選挙で“全敗”という結果に与党からは政権運営への影響を懸念する声が出ています。

自民党・山口選対委員長：「この結果は有権者の審判。我々はしっかり厳粛に受け止めて今後の色んな選挙にも反省を踏まえてやっていきたいと思っております」

自民党内からは任期満了まで半年を切った衆議院選挙への影響を懸念する声が広がりそうです。

また、公明党の石井幹事長は「政権運営への影響はなしとは言えない」と述べたうえで、信頼回復の必要性を訴えました。

立憲民主党・福山幹事長：「次の選挙についても我々としてはこれはずみとして、また勢いを持って国民の皆さんの期

待に応えるような準備をしていかなければならない」

立憲民主党の福山幹事長は衆議院選挙に向けて野党候補の一本化に向けた調整をさらに進める考えを示しました。

しんぶん赤旗 2021年4月26日(月)

## 3国政選 市民と野党全勝 北海道2区・松木氏 長野・羽田氏 広島・宮口氏 菅政権に痛打

衆院北海道2区、参院長野選挙区の両補欠選挙と参院広島選挙区再選挙が25日に投開票され、3選挙区で野党統一候補が勝利しました。菅政権発足後最初の国政選挙で、新型コロナ対策や安倍政権以来の政権中枢による金権腐敗、政治の私物化に対する国民の厳しい審判が下りました。広範な市民と野党は、三つの選挙区すべてで安保法制廃止・立憲主義回復を基本とする政策協定を結び、幅広い勢力を結集してたたかいました。日本共産党はどの選挙区でも、統一候補勝利のために全力を挙げ、最後まで奮闘しました。菅政権には痛撃となる一方、共闘の力で菅政権を追い詰め、倒し、新しい政権を目指すたたかいを飛躍させる大きな成果です。



(写真) 当選確実が伝えられ、支援者から贈られた花束を掲げる市民と野党の統一候補・松木謙公氏＝25日、札幌市北区



(写真) 当選確実の報道を受け、市民や野党の代表ら支援者の祝福を受ける羽田次郎・野党統一候補（壇上青い上着）＝25日、長野市



(写真) 当選確実が報じられ関係者から花束を渡される前に涙ぐむ、野党統一候補の宮口治子氏（右）＝25日、広島市中区

## 衆院北海道2区補選

北海道2区は、自民党の吉川貴盛元農水相＝収賄罪で在宅起訴＝の辞職に伴う選挙。松木謙公野党統一候補（62）＝立憲民主党公認＝が当選しました。自民党は候補を立てられませんでした。

2016年4月の衆院北海道5区補選以来、築き上げてきた北海道の市民と野党の共闘がまた前進。「やったー」。札幌市

北区の松木氏の選挙事務所に「当確」の報が伝わると拍手と歓声が湧き起こりました。松木氏が姿を見せるとひととき大きな拍手と歓声で、駆け付けた市民と野党関係者が次々松木氏とグータッチを交わしました。

選挙中「野党統一で頑張り、次は政権交代を目指す」と訴えた松木氏は、「戦争させない市民の風・北海道」や日本共産党を含む各野党に感謝を表明。駆け付けた支援者らに、PCR検査拡充などコロナ対策に全力をあげる考えを改めて表明しました。

会場に駆け付けた「市民の風」の山口たか共同代表は、「共闘の成果が出ました。次の総選挙での共闘、政権交代に実るようあきらめないで頑張りたい」と語りました。

#### 参院長野補選

参院長野補選は、立憲民主党の羽田雄一郎氏が新型コロナウイルス感染症により死去したことに伴うもの。雄一郎氏の実弟で新人の羽田次郎氏（51）が、立憲民主党公認、日本共産党、社民党推薦の野党統一候補としてたたかい、自民党新人との事実上の一騎打ちを制し、当選しました。

羽田氏は市民連合と野党各党の間で、新型コロナ収束へ「国民の命と健康、暮らしを最優先した対策」「憲法9条改定に反対」などを盛り込んだ政策を締結。「子どもに自己責任を押し付けけない政治」「ジェンダー平等社会」の実現などを街頭で訴え抜き、業界団体の締め付けなど組織戦で追い上げをはかった自民党元衆院議員の小松裕候補＝公明推薦＝をかわしました。

#### 参院広島再選挙

参院広島選挙区での再選挙は、19年参院選の大規模買収事件をめぐる河井案里前参院議員＝自民党を離党＝の有罪確定、当選無効に伴うもの。自民党本部と同広島県連の丸ごとの責任が問われた選挙で、市民と野党の幅広い支援を受けた野党統一候補の宮口治子氏（45）＝諸派、新人＝が自民党地盤の強い同地域で、市民と野党の共闘による勝利という歴史的勝利を果たしました。自民党公認、公明党推薦で元中央官僚の西田英範氏（39）との事実上の一騎打ちを制しました。

宮口氏と県内の三つの市民連合は▽金権腐敗選挙の払拭（ふっしょく）▽日本政府への核兵器禁止条約参加要求▽安保法制廃止などの政策協定を締結。日本共産党、立憲民主党など推薦・支援した野党が市民連合とそれぞれ同じ協定を結び、初の野党共闘のたたかいとなりました。

しんぶん赤旗 2021年4月26日(月)

**大義あるたたかいで勝利 重要な成果 3国政選 野党統一候補全勝 小池書記局長が会見**



(写真) 記者の質問に答える小池晃書記局長

＝25日、党本部

日本共産党の小池晃書記局長は25日、同日投開票された衆院北海道2区補選で松木謙公氏、参院長野選挙区補選で羽田次郎氏、参院広島選挙区再選挙で宮口治子氏の野党統一候補3氏が全勝したことを受け、東京都内で記者会見し、「多くの市民と力をあわせた大義あるたたかいで、三つとも勝利できたことは極めて重要な成果だ」と述べました。

小池氏は、いずれの選挙でも菅義偉政権の新型コロナウイルス対策の無為無策への怒りに加えて、選挙の原因となった自民党の金権腐敗に「極めて強い批判の声が寄せられた」と強調。今回の結果を踏まえ、日本共産党として、東京都議選（6月25日告示、7月4日投票）と来たるべき総選挙での躍進、共闘勝利に向けて「全力をあげる決意だ」と表明しました。

#### 社説 自民3戦全敗 政権運営、反省の時だ

朝日新聞デジタル 2021年4月26日 5時00分



参院広島再選挙で初当選した宮口治子氏

（左）。選挙戦では立憲民主党の枝野幸男代表（右）も応援に駆けつけた＝2021年4月11日、広島市中区、上田潤撮影

菅政権下で初となる三つの国政選挙で自民党が全敗した。とりわけ前代未聞の大規模選挙買収事件を受けた広島での敗北は、金権政治に対する有権者の厳しい姿勢の表れに違いない。菅首相は一連の審判を重く受け止め、政権運営全般の反省につなげねばならない。

きのう投開票された3選挙のうち、収賄罪に問われている吉川貴盛元農水相の議員辞職による衆院北海道2区補選は、「勝ち目がない」とみた自民党が早々に候補者擁立を見送り「不戦敗」に。残る参院の長野選挙区補選と広島選挙区再選挙が与野党対立の構図となった。

長野は急逝した立憲民主党の羽田雄一郎氏の地盤を引き継いだ弟の立憲新顔が勝った。自民は長野の情勢も厳しいとみて、公職選挙法違反の有罪が確定した河井案里氏の当選無効に伴う広島に力を注いだ。野党共闘候補に及ばなかった。

広島はもともと、衆院の7小選挙区のうち六つを押さえる「自民王国」である。地力の差がありながらの敗北は、事件へのけじめも疑念解消への取り組みも不十分な、自民と政権に対する有権者の強烈なしっぺ返しといえる。

カネを受け取った自民党県連所属の県議と広島市議計24人は刑事責任を問われず、現職にとどまっている。選挙前に河井夫妻に渡した1億5千万円の使途の解明に、党本部が主体性を発揮した様子もない。再選挙の陣頭指揮をとった党広島県連会長の岸田文雄前政調会長は、「自民党を変えていかなければならない」と訴えたが、真相解明と再発防止の具体策がなければ、信頼は取り戻せない。

首相として初めて臨む国政選挙で、秋までに必ずある衆院選の前哨戦だということに、首相が応援演説に出向くなど、先頭

にたって支持や理解を呼びかける場面は最後までなかった。敗れた際の打撃を和らげたいという思惑からか。コロナ対応や米国訪問があったとはいえ、腰が引けた印象は否めない。

有権者の判断材料は「政治とカネ」の問題に限るまい。3度目の緊急事態宣言に追い込まれたコロナ対策をはじめ、これまでの政権運営に対する総合評価の表れとみるべきだ。首相にはその謙虚さを求めたい。

一方、共闘が功を奏し、3勝した野党も慢心は禁物だ。長野では、立憲の候補者と共産、社民の地元組織が結んだ政策協定に国民民主が反発し、推薦を一時白紙とする混乱があった。近づく衆院選に向け、選挙区での候補者の一本化と同時に、共通の公約づくりや政権の枠組みに対する考え方のすり合わせを急がねばならない。

### 社説 衆参3選挙で自民全敗 政権半年への厳しい審判

毎日新聞 2021/4/26 東京朝刊

菅義偉政権の半年に対する厳しい審判だ。首相は結果を重く受け止めなければならない。

内閣発足後初の国政選挙となった衆参3選挙で、自民党が候補を立てなかった衆院北海道2区補選を含めて全敗した。

与党が補選・再選挙で1勝もできないのは異例の事態だ。とりわけ保守地盤である広島県の参院再選挙で、敗れた打撃は大きい。

買収事件で有罪が確定した河井案里元議員の当選無効に伴う再選挙だった。「政治とカネ」の問題が最大の争点となった。

しかし、自民党の二階俊博幹事長は事件を「他山の石」と評し、首相も選挙応援に入らなかった。政治不信の払拭（ふっしょく）に取り組む姿勢が全く見えなかった。

全敗は何より、半年間の政権運営が招いた結果である。

まず、新型コロナウイルス対策だ。対応が再三後手に回り、3回目となる緊急事態宣言の発令に追い込まれた。感染対策の「切り札」と位置づけるワクチンも、海外からの調達に手間取り、国民にいつ行き渡るのか見通せていない。

日本学術会議の会員候補6人を任命しなかった問題は、拒否の理由を説明せず、全く解決していない。放送事業会社に勤める長男が総務省幹部を接待した問題についても、「長男は別人格」とかわし、真相解明に向けて消極的な態度を貫いた。

首相は「当たり前政治」を掲げ、国民目線の政策をアピールしてきた。しかし、実際の政権運営は、国民感覚からかけ離れたものだった。

この半年間で浮かび上がったのは、国民と向き合わずに、説明に意を尽くさない独善的な首相の政治姿勢である。

衆院議員の任期満了まで半年を切った。今回の全敗を受けて、自民党内で「菅首相で総選挙が戦えるのか」との声が強まる可能性がある。

ただし、今は、コロナの感染爆発を抑えられるかどうかの瀬戸際である。衆院解散をちらつかせたり、政権延命を画策したりするような状況ではない。

首相はまず喫緊の課題であるコロナの収束に全力で取り組

み、有権者の不安や不信に応える責任がある。

### 社説 菅政権は選挙全敗を真摯に受け止めよ

日経新聞 2021年4月25日 23:06 [有料会員限定]

自民党が参院の補欠選挙と再選挙でいずれも敗北した。候補を立てなかった衆院補選と合わせて3戦全敗の厳しい結果となった。



自民党は25日の補選・再選挙で不

戦敗を含む3戦全敗となった

「政治とカネ」の問題や新型コロナウイルス感染症の対応などへの有権者の批判のあらわれといえる。菅政権と与党は結果を真摯に受け止め、丁寧な姿勢で信頼回復に努めるべきだ。今回の選挙は昨年9月に菅政権が発足してから初の国政選挙だ。これまでの政権の評価が焦点となり、秋までにある衆院選の前哨戦としても位置づけられた。

特に参院広島の再選挙は買収で有罪が確定した河井案里前議員（自民離党）の当選無効によるもので、買収行為を認めて衆院議員を辞職した夫の克行被告（同、広島3区）の事件とともに、政権や自民の体質が厳しく問われた。

広島は保守地盤が厚く、議席維持を狙う自民は岸田文雄前政調会長が県連会長として陣頭に立って必勝態勢で臨んだ。それでも及ばなかったのは、事実の解明や再発防止に「自民は後ろ向き」と有権者が断じたためだろう。

2019年の参院選で案里前議員の陣営には党本部から1億5千万円もの活動費が投入された。党側は資金は買収と無関係としているが、再選挙の民意を踏まえて調査や説明を尽くすべきだ。

選挙期間中、菅義偉首相（党総裁）は広島入りを避けた。コロナの影響もあろうが、事件が尾を引くなか、選挙戦に逆効果になるのを懸念したとの見方がある。菅政権では首相の長男が関係した総務省の接待問題なども発覚している。批判に正面から向き合うことが肝要ではないのか。

衆院北海道2区補選も収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農相（自民離党）の議員辞職によるものだった。自民は次期衆院選が近いのを見越して不戦敗を選んだが、敗北には違いない。立憲民主党の羽田雄一郎元国土交通相の死去に伴う参院長野補選は、実弟を擁立して吊い選挙を展開した同党が議席を守った。自民は医師の元衆院議員を立てコロナへの取り組みを訴えたものの、浸透しきれなかった。

政府は東京、大阪など4都府県に3度目の緊急事態宣言を出した。医療の逼迫やワクチン接種の遅れなどへの国民の不安と不信は根強い。選挙結果は感染抑止への果敢で迅速な対応も菅政権に迫っている。

主張 自民党「3敗」 有権者の厳しい声を聞け

産経新聞 2021.4.26 05:00

菅義偉首相にとって初の国政選挙となった参院長野選挙区補選と広島選挙区再選挙、衆院北海道2区補選の3つの選挙で自民党が全敗した。

「政治とカネ」の問題や3度目の緊急事態宣言の発令という新型コロナ対策などをめぐり、有権者が厳しい判断を突きつけたといえよう。

自民党内に緩みや驕（おご）りはなかったか。菅首相や与党幹部は政権に向けられた国民の厳しい声に真摯（しんし）に耳を傾けねばならない。

3つの国政選挙は、与野党とも今秋までに行われる次期衆院選の前哨戦として位置づけ、党幹部が連日選挙区入りしながらの総力戦となった。

衆院北海道2区補選は鶏卵汚職事件に絡み、収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農林水産相の議員辞職に伴って行われた。自民党は不戦敗を決め込み、公明党も自主投票とした。これでは与党として国民に訴えるものがないと言っているのも同然である。参院長野は羽田雄一郎元国土交通相の引合い合戦の色合いが強かった。

「政治とカネ」が最大の争点となった参院広島再選挙は、公職選挙法違反で有罪判決が確定した河井案里前参院議員（自民離党）の当選無効を受けて行われた。与党にとって逆風だったが、それをね返せなかったのは、有権者に場当たりの対応を見透かされていたからではなかろうか。

自民党候補は選挙戦序盤に封印していた「政治とカネ」の問題について、終盤で党本部の批判に転じるなど、真摯にこの問題に向き合ったとは言いがたかった。

折からのコロナ禍で政府は東京など4都府県に25日から緊急事態宣言を適用した。変異株が猛威を振るい、いっこうに収束する気配を見せない。ワクチン接種も他の先進諸国に比べ遅々として進んでいない。感染者の増加に伴い、病床も逼迫（ひっぱく）している。

ウイルスと闘うのに与党も野党もない。菅首相が責任政党のトップとして、常に謙虚な姿勢で国政に臨むのは当然だ。医療体制に万全を期すなどコロナ対策に全力を挙げてほしい。

3カ月後には東京オリンピック・パラリンピックがある。菅首相に求められるのは、目先の弥縫（びほう）策ではなく、コロナ禍への不安を取り除き、国民の健康と命を守る施策である。内外の諸課題にも果敢に取り組んでもらいたい。

## 社説 衆参で自民3敗 政権批判と受け止めよ

東京新聞 2021年4月26日 07時14分

二十五日に投開票が行われた衆参三選挙区での補欠選挙と再選挙は、いずれも野党系候補が勝利した。自民党は不戦敗を含めて全選挙区での敗北となり、菅政権への厳しい民意が反映された形だ。

昨年九月に就任した菅義偉首相（自民党総裁）にとって初の国政選挙。自民党は公認候補を擁立した参院広島選挙区の再選挙と参院長野選挙区で敗れ、衆院北海道2区の補欠選挙で

は候補者擁立を見送った。首相にとって不戦敗を含む三選挙区での自民敗北は、今後の政権運営や、十月に任期満了となる衆院の総選挙に向けて大きな痛手となるに違いない。

特に、参院広島は大規模買収事件で有罪が確定した河井案里前参院議員の当選無効、衆院北海道2区は鶏卵汚職事件で収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農相の議員辞職に伴う選挙である。

いずれも、離党したものの自民党議員による「政治とカネ」の問題が発端であり、自民党内に残る旧態依然の金権体質が、選挙の主要争点になった。

自民党は参院広島再選挙で、経済産業省の官僚出身者を擁立。地元の岸田文雄前政調会長ら党幹部が現地入りして必勝を期したが、有権者の支持は得られなかった。

立憲民主党の羽田雄一郎元国土交通相の死去に伴う参院長野補選では元衆院議員を擁立して臨んだが、強固な地盤は崩せなかった。

首相をはじめ自民党は、政治とカネの問題を巡る厳しい世論を深刻に受け止めるべきである。

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、感染拡大防止や医療態勢の逼迫（ひっぱく）解消に向けた有効な手だてを講じられない政権に対する不信感も、与党・自民党への厳しい判断につながったのだろう。

三つの国政選挙は、衆院選や七月四日投開票の東京都議選の行方を占う前哨戦とも位置付けられ、発足半年の菅政権の政権運営や政治姿勢を問う選挙でもあった。

不戦敗を含む全敗を受けて、自民党内で菅氏の下では衆院選は戦えないとの意見が出てくれば、首相交代論が一気に高まり、九月に行われる党総裁選での菅氏再選は難しくなるかもしれない。

一方、野党側にも課題を残した選挙でもあった。立憲民主、共産、国民民主、社民の野党各党は三選挙区とも野党「統一候補」を立てて臨み、勝利したが、共産党の協力を巡って陣営内に亀裂も残した。次期衆院選で野党共闘を進めるには、選挙態勢の立て直しが急務となるだろう。

## 社説 自民3選挙全敗 政権への不信の表れだ

北海道新聞 04/26 05:00

菅義偉首相が就任して初めての国政選挙となった衆院道2区補欠選挙と参院の長野選挙区補選、広島選挙区再選挙は、自民党が候補擁立を見送った道2区を含め、同党が全敗を喫した。

秋までに行われる次期衆院選の前哨戦と位置づけられた3選挙区で菅政権に厳しい審判が下った。

広島は参院選を巡る買収事件で有罪が確定した河井案里前参院議員の当選無効、道2区は鶏卵汚職事件で在宅起訴された吉川貴盛元農水相の議員辞職に伴うものだ。

安倍晋三前政権から続く「政治とカネ」の問題が大きな争点だった。政権は疑惑の解明にまともに取り組もうとせず、首相や安倍氏から真摯（しんし）な反省の弁はなかった。

有権者の不信は極まった。政府・与党は重く受け止め、信頼回復に努めなければならない。

広島は前回の参院選で、自民党が現職と新人の河井前議員を擁立して2議席独占を目指した。再選挙では、買収事件への批判がこの厚い保守地盤を突き崩した。

事件は夫の河井克行元法相（衆院議員辞職）が主導して100人に計約2900万円を配ったとされ、自民党が案里前議員の陣営に渡した1億5千万円が原資になったとの疑念が拭えない。

河井夫妻と近く、案里前議員の応援に駆けつけた首相の責任は重い。通常の10倍もの巨額資金を提供した理由や使途を調べ、結果を公表するよう党に指示すべきだ。

道2区は与党として有権者に選択肢の提示すらできなかった。

しかも、自民党は選挙期間中に、吉川元農水相の汚職事件の贈賄側から現金を受け取った疑いが浮上し、内閣官房参与を辞職した西川公也元農水相を幹事長特別参与として党務に復帰させた。

ここでも、まるで反省が見えない。有権者をないがしろにしたような姿勢にはあきれられるばかりだ。

投開票の直前には、前経済産業相の菅原一秀衆院議員が選挙区内の行事で現金を配った疑惑が東京地検の再捜査で明らかになった。

政治とカネの問題では安倍氏の桜を見る会の疑惑もある。政府・与党は今度こそ真相究明に本腰を入れなければならない。

新型コロナウイルスへの対応も結果に影響を与えたとみられる。

感染拡大が止まらず、3度目の緊急事態宣言発令に追い込まれた一方で、ワクチン接種は大幅に遅れている。前政権からの施策を検証して改善を図った形跡はない。

度重なる場当たりの対応に、国民の信用は失墜している。

## 社説 羽田氏が初当選 政権への不信が表れた

信濃毎日新聞 2021/04/26 09:16

参院県区補欠選挙で立憲民主党新人の羽田次郎氏が、自民党新人の小松裕氏らを破り、初当選した。

昨年9月発足の菅義偉内閣にとって初の国政選挙だ。争点は新型コロナウイルス対策や「政治とカネ」の問題、首相の政治姿勢などだった。秋までに予定される衆院選に影響を与える可能性もある。

羽田氏は共産、国民民主、社民も推薦し、選挙戦では与野党幹部が相次いで県内入りした。総力戦だったといえる。野党共闘候補の勝利は、政府のコロナ対策に対する不信と不安の表れだ。

菅政権は3度目となる緊急事態宣言を大阪や東京など4都府県に発令した。県内でも感染が再拡大し、変異株も広がっている。

医療現場の改善は進まず、ワクチン接種も遅れている。一方

で飲食業などには営業時間短縮などが要請され国民生活の制約が続く。

信濃毎日新聞の出口調査だと、羽田氏に投票した人の約6割が政府のコロナ対策を「評価しない」と回答した。政府の対策への厳しい評価と捉えるべきだ。

「政治とカネ」を巡る不祥事や総務省接待問題なども一因になったことは間違いない。菅政権は国会や記者会見で質問に真正面から答えず、やり過ごしてきた。責任に向き合わない姿勢が問われた。

菅内閣と与党は、敗北を重く受け止めなければならない。

県区補選は、羽田氏の実兄雄一郎氏が、新型コロナで急逝したことを受けた。野党側に「甲い合戦」の様相があったことも勝因の一つといえる。

羽田氏の政策が十分だったとはいえないだろう。コロナ対策や「政治とカネ」が論戦の中心で、人口減や地域振興など地方が抱える問題への言及は多くなかった。

任期は2025年7月までである。生活者の視点に立って政策を練り上げ、提言してほしい。政権が国民を見ているのか、チェックも絶えず続けなければならない。

野党共闘にも課題を残した。羽田氏が確約した政策協定を巡って混乱し、一時は国民民主党が推薦を見直す意向を示した。

政策が異なる野党が与党に立ち向かう方策として、どう共闘するのか。総選挙に向け、課題を整理して解消できるかが問われる。

投票率は19年参院選の54・29%を下回った。コロナ禍での補選とはいえ、民主主義の根幹である選挙で約半数が棄権したのは深刻だ。有権者の関心を高める政治ができていないのか、与野党は自問する必要がある。

## 社説 参院広島、宮口氏が当選 「金権」決別の第一歩に

中国新聞 2021/4/26 6:03

カネまみれ選挙がはびこる広島県—。そんな汚名への怒りを有権者が示したと言えよう。

おととしの参院選広島選挙区を巡る大規模買収事件で、有罪判決が確定した河井案里氏の当選無効に伴う再選挙が、きのう投開票された。諸派の政治団体「結集ひろしま」新人のフリーアナウンサー宮口治子氏が、初当選を果たした。

選挙戦は、自民党新人で公明党推薦の元経済産業省官僚の西田英範氏との事実上の与野党一騎打ちとなった。基礎票で連立与党に水をあけられているにもかかわらず、立憲民主、国民民主、社民の野党3党推薦の宮口氏が、西田氏に競り勝った。金権政治への憤りが広がり、得票の追い風になったのだろう。

今回の再選挙は、菅義偉首相の就任後初の国政選挙だった。参院長野選挙区と衆院北海道2区の両補選も含め、三つの選挙全てで与党が敗北した。

政治とカネの問題に加え、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ政府の対策に不手際が目立ったことなども響いている。政府・与党は、示された民意を重く受け止めねばならない。

参院広島の再選挙で問われたのは、カネまみれ選挙からどう脱するかだった。案里氏は離党したが、買収事件の責任は自民党にもある…。そんな宮口氏の訴えは分かりやすかった。

一方、西田氏は途中から政治改革を進める覚悟を示し始めた。応援演説の自民党議員らも「問題の議員は離党した。悪い部分は取り除いた」と党刷新を訴えたが、カネまみれ選挙で傷ついた党のイメージはなかなか回復できなかった。

「悪い部分」が全てなくなったわけではないからだろう。県連の反対を押し切って案里氏を立候補させ、積極的に支援したのは当時の党総裁で首相の安倍晋三氏や、官房長官だった菅義偉氏らである。幹部が事件の責任を何も取らないのでは、信頼回復も党改革も進むまい。

党本部が案里氏の陣営に渡した1億5千万円の問題も残っている。当時の党現職の10倍に当たる大金をなぜ提供したのか。何に使ったのか。党本部はいまだに説明を尽くしていない。

政治とカネは、河井夫妻に限った問題ではない。今回の衆院北海道2区の補選にも影響している。同区の自民党現職だった吉川貴盛氏に、農相時代の贈収賄疑惑が出て議員を辞めた。金権政治が争点になるのを恐れたためか、党本部は後継候補を立てることさえできなかった。

先日は、菅原一秀・前経済産業相が選挙区内の行事で祝儀や会費の名目で現金を配った疑いも浮上した。カジノを巡る贈収賄事件をはじめ、政治とカネの問題は後を絶たない。金権政治は党の体質だと疑われても仕方あるまい。根本的な対応が急がれるのに、自覚を欠いている。

与党に緊張感が乏しいのは野党にも責任がある。敵失に助けられた面もある今回の3国政選全勝だが、近づく衆院選に向け緊密な協力が求められよう。巨大与党と対峙(たいじ)できる力を付けてこそ、政治とカネの問題をただす道が開けるのではないかと。

買収事件の教訓をどう生かすのか、自民党県連も問われている。違法なカネを受け取った地方議員の居座りを許すのか。金権政治と決別するには、一步踏み出すことが必要である。

## 偶発的衝突のリスク 緊迫の海、日米抑止強化—台湾・尖閣対処・防衛省

時事通信 2021年04月26日07時02分



海上自衛隊のイージス艦「こんごう」

(手前)と米海軍第7艦隊の指揮艦「ブルーリッジ」(奥)の共同訓練=3月29日、東シナ海(米第7艦隊提供)



日米首脳会談は、東シナ海や南シナ海での中国の現状変更の試みなどに懸念を共有し、抑止力・対処力強化で一致した。防衛省は警戒監視や共同訓練を通じて在日米軍との連携を深めているが、緊迫化した空・海域に日米中の艦船・航空機が集中すれば、偶発的衝突のリスクも伴う。

日米首脳会談に先立つ3月の安全保障協議委員会(2プラス2)前後から、日米による実践的な共同訓練が目立っている。防衛省によると、3月下旬の海自イージス艦「こんごう」(長崎県・佐世保基地)と米海軍第7艦隊の指揮艦「ブルーリッジ」(神奈川県・横須賀基地)の訓練も日米同盟の抑止力強化と相互運用性の向上を目的に行われた。

ブルーリッジは第7艦隊の司令部機能があり西太平洋の軍事情報が集約され、こんごうは防空能力に優れる。沖縄県尖閣諸島や台湾海峡危機には、安全保障関連法に基づきブルーリッジを防護するシナリオもあり得る。

防衛省は共同訓練などの情報発信にも力を入れているが、一体的に活動すれば、対立が過熱化する米中の不測の事態に巻き込まれる懸念もある。

「相手を挑発しかねない」。米海軍が今月上旬にウェブサイトで公表した写真に日本政府内でこんな声がささやかれた。第7艦隊のイージス艦「マスティン」が中国軍空母「遼寧」を監視する場面を撮影したもので、艦長が足を投げ出して眺める様子が収められている。

政府関係者は「写真から推測すると米艦と遼寧の距離は2000メートルほど。中国空母を見下しているようにも受け取れ、無用な摩擦を生じかねない」と話す。沖縄近海を航行した遼寧に対しては、海自護衛艦と哨戒機(鹿児島県・鹿屋基地など)も追尾・監視していた。

日中防衛当局間のホットラインは、保全措置をめぐる調整中で開設には至っていない。衝突回避は現場の自衛隊が直接通信で中国軍艦艇・航空機とやりとりするしかない。東シナ海では2013年に海自護衛艦が中国艦から火器管制レーダーを照射され、南シナ海では18年に米イージス艦が中国艦に異常接近された。

海自トップの山村浩海上幕僚長は今月の記者会見で、「他国の軍艦とすれ違うときは共通の周波数でコミュニケーションは取れている。意思疎通はできており現時点では問題ない」としている。